

山岡氏が初入閣

野田新内閣

国家公安委員長に

消費者、拉致担当を兼務



国家公安委員長、消費者相、拉致問題相に決まり、首相官邸に入る山岡氏。2日午前

野田佳彦新首相(54)は2日午前、新内閣の顔触れを決めた。財務相に民主党の安住淳前国対委員長(49)、外相に玄葉光一郎国家戦略担当相(前政調会長)Ⅱ(47)Ⅱを起用。行政刷新兼公務員制度改革担当相に蓮舫首相補佐官(43)、厚生労働相に小宮山洋子厚労副大臣(62)、総務相兼沖縄北方担当相に川端達夫前文部科学相(66)を充て、小沢一郎元代表側近の山岡賢次元国対委員長(68)を国家公安委員長兼消費者・拉致問題担当相に登用するなど、党執行部人事に続き挙党態勢を重視した布陣を敷いた。

山岡氏は東京都生まれ。参連代表。義父は作家の山岡荘八。慶応大卒。

年衆院選初当選。5期目。栃木4区選出で、真岡市と小山市に地元事務所を置く。自民党離党から新進党、自由党、民主党と、小沢一郎元民進党代表と行動を共にし、側近として知られる。大蔵・法務政務次官、衆院農林水産委員長、民主党国対委員長などを務め、現在は同党副代表、県

午後、首相任命式・閣僚認証式を経て、民主、国民新両

党連立の新内閣が正式に発足する。

民主党代表選で争った鹿野道彦農相(69)は再任。経済産業相に鉢呂吉雄元国対委員長(63)、国土交通相に前田武志参院予算委員長(73)、防衛相に一川保夫参院政審会長(69)、文部科学相に中川正春元文科副大臣(61)を起用した。法相は平岡秀夫総務副大臣(57)、経済財政担当相兼国家戦略担当相は古川元久元官房副長官(45)となった。

官房長官に側近の藤村修前幹事長代理(61)を起用し、国民新党の自見庄三郎金融・郵政改革担当相(65)も再任した。財務相起用が有力となっていた岡田克也前幹事長(58)については、小沢氏の党員資格停止処分を主導したことで党内に異論があることも考慮、入閣を見送った。初入閣は藤村氏ら10人。

野田氏は午前、官邸に入り国民新党の亀井静香代表との会談後に組閣本部を設置。藤村氏は閣僚名簿を発表し「適材適所だ。ドジョウのように泥にまみれて仕事をして、政治を前進させたい」と語った。野田氏は内閣発足後の夕方に官邸で記者会見。この後、初閣議に臨む。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座00350-0-407
©下野新聞社2007

読者室 028-625-1179
(受付・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売局 028-625-1120
広告局 028-625-1133
事業局 028-625-1134

下野新聞社ホームページ

<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外



フリーダイヤル

0120・810081

下野新聞購読お申し込みは

栃木のニュースを携帯でも!!



下野新聞 検索